

# 民報 ゆうばり

# TPP “米の輸出倍増計画” 露骨な要求!

# 食品・医療・公共事業…50項目に及ぶ内政干渉!

**農業、食品、保険、医療、公共事業…  
TPPには怖ろしい仕掛けが!**

深刻な経済危機に苦しむ米オバマ政権は輸出倍増を危機突破の“切り札”と位置づけています。

「貿易を拡大すれば、巨額の支出を政府が直接しなくても、雇用と経済的刺激を得られる」(USTR) 2011年大統領通商政策課題」からです。

さらに、米国はもつと輸出できるように「米国の価値観を反映する高い基準に基

礎

づき、貿易協定で米国の諸権利を遂行(強制)する―「必要な場合は強制行動をとる」米国の諸権利を強制する「ための貿易協定中、地域的枠組みの第一に掲げるのがTPPです。世界で最も急速に成長する市場の多くがアジア

にあり、米国の全面関与のみが「米国に利益をもたらすと主張

」



## 地方議会のTPPに関する意見書

市町村議会の意見書

参加すべきでない	1056 件
慎重に検討すべき	302 件
農業の国内対策必要	38 件
その他	29 件
合計	1425 件



的 S た 場 輸 の 牛 産 は 和 制 米 策 脳 症) 対 策 である 米 国 産 牛 肉 の 輸 入 限 制 の 緩 和 : 日 本 「 米 国 産 牛 肉 製 品 の 最大 の 輸 出 市 場 」 だ っ た が 、 B S E 対 策 の 部 分 的 輸 入 制

限を緩和して以後も、元の水準を回復していないと抗議。市場開放を求めます。(USTR「11年衛生植

● 血液製剤：エイズウイルス(HIV)の感染拡大の要因となつた米国製血液製剤について「血漿(け

● 公共事業：米企業が日本の膨大な公共事業の1%未満にししか関与できていないと抗議。

● 食品の関税：引き下げ：牛肉(38.5%)、オ

● コメ輸入：コメの輸入・流通制度を「高

● 医療：株式会社など「フルサービスをする営利病院」に対する「制限的規制」

● 開発・再開発、港湾

## 食の安全—対日7要求

項目	現状	対日要求
① 牛肉・牛肉製品	BSE対策で米国産牛肉・牛肉製品を輸入制限	米の危険水準などにに基づき市場開放を
② 冷凍フライドポテト	冷凍フライドポテトの輸入を大規模面があるからと拒否	油で調理すれば危険は除去されるから受け入れを
③ 食品添加物	6種の食品添加物の検討・認可が未完了	早期に完了を
	日本国内で使用していない80種を認可リストからはずした	認可リストに戻せ
④ ゼラチン	BSE対策で反豚(はんすう)動物のゼラチンの輸入を禁止	米の危険水準などにに基づき解除を
⑤ 収穫後防かび剤	同防かび剤を食品添加物に分類し、危険評価を2回受ける	危険評価の簡素化を
⑥ 残留農薬基準	基準値違反の場合に検査対象を広げ検査を厳しくする	基準緩和を
⑦ コメ	コメ輸入制度は検査が厳しい	検査の簡素化を

USTR「2011年衛生植検疫措置報告」による

と主張しています。

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

「米設計・建設会社の参加を制限する問題ある慣行」に

# 除雪の心配いりません！ 安心住宅…只今建設中！

安心して夕張で暮らしたい：老朽化した市営住宅が多く、なっている中で、うれしい住宅の建設が進んでいます。

この住宅は、くまがい市議や住民らが要望していた「炭坑長屋のように平屋で、となり近所と親しく話せること」「除雪の心配がいらないこと」が取り入れられたかたちで、平屋、共用部分には屋根がつき、除雪は最小限度です。

25年度は道営5棟（13戸）の建設が予定されています。

現在、南清水沢1丁目（農協店舗裏）豪雪の中、建設が急ピッチで進められ、入居公募は4月以降の予定です。

入居希望者にとつては待ち遠しい春になりそうです。

南清水沢1丁目に建設中の住宅←



平成23年度は市営4棟で20戸が、さらに平成24年度は、市営2棟（8戸）、道営4棟（14戸）、

ゆうばり国際ファンタスティック映画祭2012 開幕せまる！

2月23日（木）映画祭が  
27日（月）まで開催されます。

2月10日同映画祭実行委員会・NPO法人ゆうばりファンタスティック映画祭は市民ボランティア会議をお客様の歓迎の取り組み内容の確認やメイン会場となるアディーレ会館の清掃（2月18日）などを決めて準備にはいりました。

今回は特別企画として「KIZUNA 東北発！」映画上映会や東北お土産市場などが会館隣接地



映画祭のポスター

《お詫びと訂正》  
1月22日(第1419号)1面5段目15行目、  
…なぜ、年間7000万円もの米軍維持費を、7000億円に訂正しお詫びいたします。

で開催されます。「町を映画の力で再生させる」シンポジウムは25日（土）午後3時より予定されています。

もう一つの特別企画は「夕張落語会」と銘打って、鈴ヶ舎馬桜独演会が2月24日（午前10時開場）老人福祉会館（若菜3番地）で開催されます。

映画は、市内8会場に分かれて上映されます。

国会「かけある記」  
日本共産党 参議院議員  
紙 智子

「きちっと・・・」を連発する野田総理の  
きちっとしない対応



「一八〇通常国会の論戦がはじまり、各党の代表質問の後、「TPP・外交問題での集中審議」が行われ、1月31日、参議院で今年最初の質問に立ちました。

野田総理は、TPP参加に向けた各国との事前協議で「国民への説明と情報提供をきちっとやり、国民的な論戦を十分行つて結論を得る」と明言していましたが、その前提が覆される事態が明らかになりました。ニュージーランド政府の公式発表で交渉内容は、限られた対象にしか明らかにせず、協定が発効した後も4年間秘匿されることが合意されていたことがわかったからです。

このことを指摘すると、野田総理は、それを認め、「外交交渉では、相手国が非公開で提示したものは、尊重するのが通常当然の対応だ」と言い、その上で「出せる情報はきちっと出す」といいました。出せないものは出さないということですが、何度も「きちっと」という言葉を使うときは、逆にきちっとできないことがあるのだと思われました。それにしても、国民をごまかす態度は許せません。徹底して情報を出させ、国民の中での大論議にしていかなければなりません。

2月5日、福島革新懇の主催でTPPのシンポジウムに参加しました。国も電力会社もマスコミも総動員で行った「安全神話」によって重大な事故にいたった原発事故の教訓からも、TPPでこの舞にはいけないという、現地の声は、強く胸に響きました。